

基礎数学 A2	入学年度	学部	学科	組	番号	検	氏名
金曜2限 担当: 鎌田 政人							

●最終的な答えだけを書くのではなく、途中の計算や説明も簡潔に書くこと。そうでない場合は大きく減点する。

1 $f(x) = \frac{4x-1}{2x-1}$ とする。

a) $f(x)$ の定義域を述べよ。

分母 $\neq 0$ より、 $x \neq \frac{1}{2}$ (正確には $\{x \mid x \neq \frac{1}{2}\}$)

b) $f(x)$ を $a + \frac{b}{2x-1}$ の形に表せ。

$4x-1$ を $2x-1$ で割り算すると、商は 2、余りは 1 なので、
 $\frac{4x-1}{2x-1} = 2 + \frac{1}{2x-1}$

c) x が 1 から $1+h$ まで変化するときの $f(x)$ の平均変化率を求め、なるべく簡単な形で表せ。 [ヒント: 前問の形に直してから計算するとよい。]

$$\begin{aligned} \frac{f(1+h) - f(1)}{h} &= \frac{\left(2 + \frac{1}{2(1+h)-1}\right) - \left(2 + \frac{1}{2 \times 1 - 1}\right)}{h} \\ &= \frac{\frac{1}{1+2h} - 1}{h} = \frac{1 - (1+2h)}{h(1+2h)} = \frac{-2h}{h(1+2h)} = \frac{-2}{1+2h} \end{aligned}$$

d) $f(x)$ の $x=1$ における微分係数を極限による定義を用いて計算せよ。

c) の結果を用いて、

$$f'(1) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(1+h) - f(1)}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{-2}{1+2h} = -2$$

e) $y = f(x)$ のグラフの $(1, f(1))$ における接線の方程式を求めよ。

接線の方程式は $y - f(1) = f'(1)(x - 1)$ で与えられる。

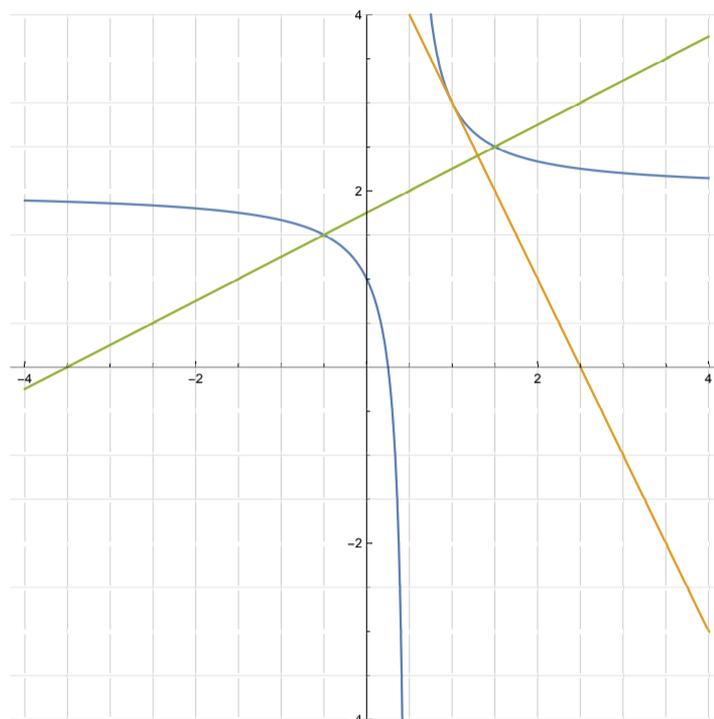
$$f(1) = 3, f'(1) = -2 \text{ より, } y - 3 = -2(x - 1)$$

$$\therefore y = -2x + 5$$

f) $y = f(x)$ のグラフと直線 $y = \frac{1}{2}x + \frac{7}{4}$ の交点を求めよ。

$$\begin{aligned} \frac{4x-1}{2x-1} &= \frac{1}{2}x + \frac{7}{4} \text{ を解く. } 4x-1 = (2x-1)\left(\frac{1}{2}x + \frac{7}{4}\right) \text{ より,} \\ 4x^2 - 4x - 3 &= (2x-3)(2x+1). \text{ したがって, } x = -\frac{1}{2} \text{ または } \frac{3}{2}. \text{ それぞれについて } y \text{ 座標を求めると, 交点は } \left(-\frac{1}{2}, \frac{3}{2}\right) \text{ と } \left(\frac{3}{2}, \frac{5}{2}\right) \text{ の 2 つ} \\ &\text{であることがわかる.} \end{aligned}$$

g) $y = f(x)$ のグラフ, e) で求めた接線, および直線 $y = \frac{1}{2}x + \frac{7}{4}$ を下の座標平面内に描け。



h) グラフを利用して不等式 $\frac{4x-1}{2x-1} \leq \frac{1}{2}x + \frac{7}{4}$ を解け。

$y = \frac{4x-1}{2x-1}$ のグラフが直線より下にある x の範囲を求めればよい。

グラフを参照して、 $-\frac{1}{2} \leq x < \frac{1}{2}$ または $x \geq \frac{3}{2}$ 。

i) $y = f(x)$ の逆関数 $y = f^{-1}(x)$ を求め、その定義域を示せ。

$y = \frac{4x-1}{2x-1}$ を x について解けばよい。まず分母を払って、 $(2x-1)y = 4x-1$ 。これを x について整理すると、 $(2y-4)x = y-1$ 。この x についての方程式は $y \neq 2$ のとき解を持ち、 $x = \frac{y-1}{2(y-2)}$ 。ここで、 y と x を

入れ替えて $y = \frac{x-1}{2(x-2)}$ 。 $\therefore f^{-1}(x) = \frac{x-1}{2(x-2)}$ 。 定義域は $x \neq 2$ 。

j) $y = f(x)$ および、 $y = f^{-1}(x)$ の値域を示せ。

$y = f(x)$ の値域: $y \neq 2$

$y = f^{-1}(x)$ の値域: $y \neq \frac{1}{2}$

k) $(f^{-1} \circ f)(x) = x$ が成り立つことを確かめよ。

$$(f^{-1} \circ f)(x) = \frac{\frac{4x-1}{2x-1} - 1}{2\left(\frac{4x-1}{2x-1} - 2\right)} = \frac{(4x-1) - (2x-1)}{2((4x-1) - 2(2x-1))} = \frac{2x}{2 \times 1} = x$$

2] $f(x) = \sqrt{3-x}$ とする. 以下の問いに答えよ.

a) 関数 $y = f(x)$ の定義域と値域を求めよ.

定義域: $x \leq 3$ (分母 $\neq 0$ より)

値域: $y \geq 0$

b) $y = f(x)$ の逆関数 $y = f^{-1}(x)$ を求め, その定義域と値域を述べよ.

$y = \sqrt{3-x}$ の両辺を 2 乗して, $y^2 = 3-x$. これを x について解くと,
 $x = -y^2 + 3$. ここで, x と y を入れ替えて, $y = -x^2 + 3$. すなわち,
 $f^{-1}(x) = -x^2 + 3$ で, その定義域は元の関数の値域に一致するから,
 $x \geq 0$. また, その値域は元の関数の定義域に一致するので, $y \leq 3$.

c) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を求めよ. (定義に戻る必要はない.)

$$f'(x) = (\sqrt{3-x})' = ((3-x)^{\frac{1}{2}})' = \frac{1}{2}(3-x)^{-\frac{1}{2}}(3-x)'$$

$$= -\frac{1}{2\sqrt{3-x}}$$

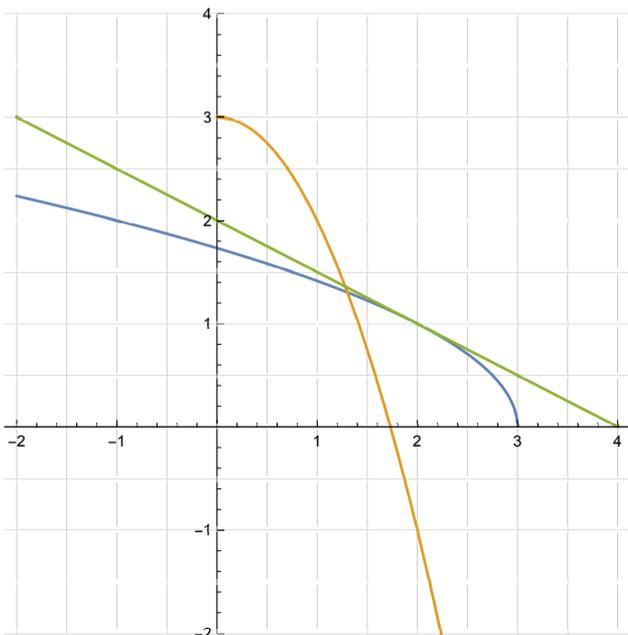
d) $y = f(x)$ のグラフの $(2, f(2))$ における接線の方程式を求めよ.

接線の方程式は $y - f(2) = f'(2)(x - 2)$ で与えられる.

$$f(2) = 1, f'(2) = -\frac{1}{2} \text{ より, } y - 1 = -\frac{1}{2}(x - 2)$$

$$\therefore y = -\frac{1}{2}x + 2$$

e) $y = f(x)$ のグラフ, $(2, f(2))$ における接線, および逆関数 $y = f^{-1}(x)$ のグラフの 3 つを右上の座標平面内に描け.



3] $f(x) = \frac{6x}{1+2x^2}$ とする.

a) $f(1), f(2), f(3), f(4)$ をそれぞれ求めよ.

$$f(1) = 2 \quad f(2) = \frac{4}{3} \quad f(3) = \frac{18}{19} \quad f(4) = \frac{8}{11}$$

b) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を求めよ.

$$f'(x) = \frac{(6x)'(1+2x^2) - (6x)(1+2x^2)'}{(1+2x^2)^2} = \frac{6(1+2x^2 - 4x^2)}{(1+2x^2)^2}$$

$$= \frac{6(1-2x^2)}{(1+2x^2)^2}$$

c) $f'(x) = 0$ となる x と, $f'(x) > 0$ となる x の範囲を求めよ.

$$f'(x) = 0 \Leftrightarrow \frac{6(1-2x^2)}{(1+2x^2)^2} = 0 \Leftrightarrow 1-2x^2 = 0 \Leftrightarrow x = \pm \frac{\sqrt{2}}{2}$$

$$f'(x) > 0 \Leftrightarrow 1-2x^2 > 0 \Leftrightarrow -\frac{\sqrt{2}}{2} < x < \frac{\sqrt{2}}{2}$$

d) $f''(x) = \frac{24x(2x^2-3)}{(1+2x^2)^3}$ である. これより, $f''(x) = 0$ となる x と, $f''(x) > 0$ となる x の範囲を求めよ.

$$f''(x) = 0 \Leftrightarrow \frac{24x(2x^2-3)}{(1+2x^2)^3} = 0 \Leftrightarrow x(2x^2-3) = 0 \Leftrightarrow x = 0, \pm \frac{\sqrt{6}}{2}$$

$$f''(x) > 0 \Leftrightarrow x(2x^2-3) > 0 \Leftrightarrow -\frac{\sqrt{6}}{2} < x < 0 \text{ または } x > \frac{\sqrt{6}}{2}$$

e) 関数 $f(x)$ の増減表を書き, グラフ $y = f(x)$ の凹凸を調べよ. (凹凸は曲がった矢印 \nearrow \searrow \curvearrowright \curvearrowleft で表すこと.)

x	...	$-\frac{\sqrt{6}}{2}$...	$-\frac{\sqrt{2}}{2}$...	0	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$...	$-\frac{\sqrt{6}}{2}$...
$f'(x)$	-	-	-	0	+	+	+	0	-	-	-
$f''(x)$	-	0	+	+	+	0	-	-	-	0	+
$f(x)$	\searrow	変曲点	\curvearrowright	極小	\nearrow	変曲点	\curvearrowleft	極大	\searrow	変曲点	\curvearrowright

f) $f(x)$ の極大値・極小値と, それをとるとききの x の値を求めよ.

$$\text{極大値: } \frac{3\sqrt{2}}{2} \quad (x = \frac{\sqrt{2}}{2})$$

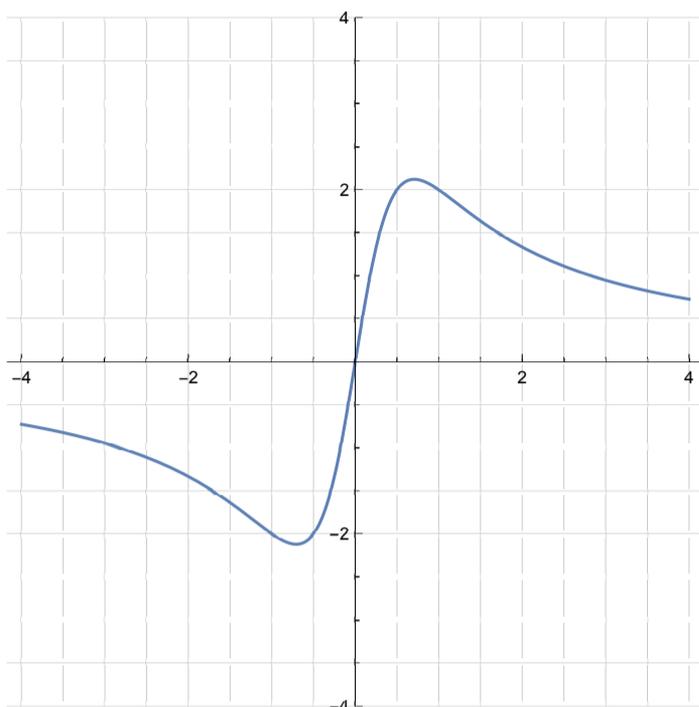
$$\text{極小値: } -\frac{3\sqrt{2}}{2} \quad (x = -\frac{\sqrt{2}}{2})$$

g) $y = f(x)$ のグラフの変曲点の x 座標を求めよ.

$$\text{変曲点の } x \text{ 座標は: } -\frac{\sqrt{6}}{2}, 0, \frac{\sqrt{6}}{2}$$

基礎数学 A2	入学年度	学部	学科	組	番号	検	氏名
金曜2限 担当: 鎌田 政人							

h) ここまでの結果を反映させ、 $y = f(x)$ のグラフを丁寧に描け。



4] 次の各々の関数の導関数を求めよ。

a) $f(x) = \frac{x-1}{x^2+x+1}$

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{(x-1)'(x^2+x+1) - (x-1)(x^2+x+1)'}{(x^2+x+1)^2} \\ &= \frac{(x^2+x+1) - (x-1)(2x+1)}{(x^2+x+1)^2} \\ &= \frac{-x^2+2x+2}{(x^2+x+1)^2} \end{aligned}$$

b) $f(x) = \frac{x}{\sqrt{1-x^2}}$

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{x'\sqrt{1-x^2} - x(\sqrt{1-x^2})'}{(\sqrt{1-x^2})^2} = \frac{\sqrt{1-x^2} - x \frac{(1-x^2)'}{2\sqrt{1-x^2}}}{1-x^2} \\ &= \frac{1-x^2+x^2}{(1-x^2)\sqrt{1-x^2}} = \frac{1}{(1-x^2)\sqrt{1-x^2}} \end{aligned}$$

c) $f(x) = x e^{1-x^2}$

$$\begin{aligned} f'(x) &= (x)'e^{1-x^2} + x(e^{1-x^2})' = e^{1-x^2} + x e^{1-x^2} (1-x^2)' \\ &= (1-2x^2)e^{1-2x^2} \end{aligned}$$

5] $f(x) = \frac{\log x}{x^2}$ とする。

a) $f(x)$ の定義域を述べよ。

分子の対数の真数条件より、 $x > 0$ 。このとき、分母は0にならないので、 $f(x)$ の定義域は $x > 0$ 。

b) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を求めよ。

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{(\log x)'x^2 - (\log x)(x^2)'}{x^4} = \frac{\frac{1}{x}x^2 - 2x \log x}{x^4} \\ &= \frac{x(1-2\log x)}{x^4} = \frac{1-2\log x}{x^3} \end{aligned}$$

c) $f'(x) = 0$ となる x と、 $f'(x) > 0$ となる x の範囲を求めよ。

$$\begin{aligned} f'(x) = 0 &\Leftrightarrow 1-2\log x = 0 \Leftrightarrow \log x = \frac{1}{2} \Leftrightarrow x = e^{\frac{1}{2}} \\ f'(x) > 0 &\Leftrightarrow 1-2\log x > 0 \Leftrightarrow \log x < \frac{1}{2} \Leftrightarrow 0 < x < e^{\frac{1}{2}} \end{aligned}$$

d) $f(x)$ の増減表を完成させよ。

x	0	...	$e^{\frac{1}{2}}$...
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗	極大	↘

e) $f(x)$ が極大・極小となる x の値があればそれを求めよ。

極大値をとる x : $x = e^{\frac{1}{2}}$

極小値をとる x : なし

f) d) の増減表を用い、 $\frac{\log e}{e^2} < \frac{\log 2}{2^2}$ を示せ。

[ヒント: \sqrt{e} と 2 の大きさを比較せよ.]

$\sqrt{e} < 2 < e$ であり、 $f(x)$ は $x > \sqrt{e}$ において減少するので、 $f(2) > f(e)$ 。

これより直ちに $\frac{\log e}{e^2} < \frac{\log 2}{2^2}$ が導かれる。

g) f) の結果を用い、 e^{2^2} と 2^{e^2} のどちらが大きいかを示せ。

$\frac{\log e}{e^2} < \frac{\log 2}{2^2}$ の両辺に $2^2 e^2$ をかけ、 $2^2 \log e < e^2 \log 2$ 。これより、 $\log e^{2^2} < \log 2^{e^2}$ が得られる。対数 \log の底は e であり、1 より大きいので、 $e^{2^2} < 2^{e^2}$ が得られる。